

令和5年度 社会福祉法人 協愛福祉会 施設自己評価表

(保育理念)

Happy+Natural
Happy+challenge

(保育目標)

げんきな子 やさしい子
がんばる子 ゆたかな子

A：よくできている

B：わりとできている

C：一部改善が必要

D：改善しなければならない

	内容	前年評価	今年評価	現状・課題
保育目標について	(1)保育士一人一人が、協愛福祉会の保育理念、保育目標を理解している	B	B	・継続的な保育・4本柱に結びついてない…と難しく考えてしまう職員もいる。また、子ども達の発信がないから…と活動を発展できないと考えてしまう職員もいるので保育者から仕掛けることの必要性も伝えていきたい。
	(2)子ども一人一人の主体性を大切にされた保育をしている	B	B	
	(3)すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種を尊重している	B	B	
保育について	(1)保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画、月のカリキュラム、週案を立てている	B	B	・子ども達のつぶやきや興味・関心を室内環境に取り込みあそびの広がりを楽しむ姿があった。環境を変える頻度は職員によって違いはあるが、他のクラスが環境を変えることにより、自分のクラスも良い刺激になっていた。また、感想を伝えたりうまくいかない部分のアドバイスを求めたりする姿もあった。
	(2)3歳未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に保育計画を立てている	B	B	
	(3)素材・用具を適切に使用している	B	B	
	(4)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	B	B	
	(5)職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている	B	B	
	(6)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい	C	C	
食育について	(1)食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	B	B	今年度は子ども達が育てた野菜が良く育ち年齢に関係なく年間を通してどのクラスも沢山のクッキングを行っていた。給食職員との連携もうまく取れていた。特に年長児は子ども達からの発信で作りたい料理を考えたり保護者への発信も多く家庭でもクッキングを楽しむ姿があった。
	(2)栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている	A	A	
	(3)アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り適切な対応を行っている	A	A	
役員研修構成	(1)職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている	B	B	午睡時に部屋を空ける職員がいた。寝ているから大丈夫だろうではなく、地震などもしもの事を想定し行動するように他職員にも周知した。また、園外保育、散歩時の地震や不審者に対する危機感を忘れず行動するよう伝える。
	(2)危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている	B	C	
	(3)園内外の研修は計画を立て実行している	B	B	

		前年評価	今年評価	現状・課題
保護者支援・情報	(1)保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・人によって受け止め方が違うので子どもの様子などを伝えるときには保護者の気持ちに寄り添った言葉選びをするよう話をしている。 ・送迎時の対応については、その日の様子をできるだけ伝えるようにし、日頃の対応から信頼関係へと繋がっていく事の重要性を伝えた。
	(2)保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	B	B	
	(3)様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている	B	A	
	(4)園だより、ドキュメンテーション、きっぷノート、ホームページ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	B	B	
	(5)子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	A	A	
	(6)職員に、園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	A	A	

開かれた 保育園	(1)小学校と連携し、情報交換をする機会を待つ	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校とのつながりは近隣校からの見学のみになっている。 ・気になる子どもの対応については、1歳半健診や3歳半健診の時期を確認し保健センターへと繋ぐことができている。
	(2)気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら対応している	B	B	

子育て支援	(1)地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時だけではゆっくり話せない保護者に対しては個別で時間を作り、家庭での困り感や悩みを共有することができた。
	(2)子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように努めている	B	B	
	(3)園生活の子どもの様子を地域にも発信している	C	C	

総合的な現状と課題

<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な保育をしなければいけないと難しく考えてしまう職員もいたのでその都度、楽しむことを一番に考えるよう指導を行った。特に行事前になると子ども達の興味関心をどうつなげていけばいいのかと悩む姿があったが、他の職員に相談しアドバイスを求めることでヒントを得ることができたり、試行錯誤しながら進めていく中で保育者自身の成長へとつながったように感じた。 ・環境については、環境の変化によって子ども達に落ち着きを感じられることもあり、興味関心からの環境作りの大切さを感じた。 ・年度末のアンケートでは総合的には満足しているという結果だったが、そう思わない保護者もいるのでそれぞれの項目について改善できることから取り組んできたいと思う。

園名 風光るゆめの森

氏名 池尻 和美